

あくろいし 市議会だより



もうすぐ
1年生



アリス保育園の年長児の皆さんが議場を見学に訪れました。

「黒石市議会だより」に使用する写真を募集しています

皆さんに親しまれる議会だよりにするための取り組みとして、次のとおり表紙等に使用する写真を募集していますので、どしどしご応募ください。

- ◆ 応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- ◆ 応募作品…市内で撮影された風景、まつり、行事などのデジタル写真データ
- ◆ 応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、メール、郵送、持参してください。なお、応募作品は未発表のものに限ります。
- ◆ 提出先…〒036-0396 黒石市大字市ノ町11-1 黒石市議会事務局 宛
※郵送、持参の場合はCD-R等で提出してください。
- ◆ メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- ◆ 注意事項…被写体の肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。その他詳細は黒石市議会ホームページまたは下記まで確認をお願いします。

目次

定例会の概要 …… 2~3

定例会一般質問など…4~6

委員会活動報告など…7

黒石市・宮古市姉妹都市
議会議員交流会など…8

平成29年第4回定例会の概要

平成29年第4回定例会は12月8日から20日までの13日間にわたって開かれ、市長提出の3報告、21議案、議員提出の2議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり報告・承認・可決しました。各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。

意見書

次の意見書を、関係行政庁等に提出しました。

◎西十和田トンネル(仮称)建設促進に関する意見書

国道102号は東北縦貫自動車道弘前線と八戸線の連絡道の役割を一部担っているほか、北海道新幹線新青森・新函館北斗間が開業となった今日では国際的観光地である十和田・八幡平圏域への観光ルートとして、また、青森県南地域、秋田県北地域の山間部における災害時等の避難路としても非常に重要な役割を担う路線ですが、豪雪地帯に位置しており、特に青森県平川市温川から秋田県小坂町滝ノ沢までの山岳区間は、毎年冬期閉鎖を余儀なくされています。

このような事情は、冬期観光ルートプランニングや災害時等の避難路確保におけるマインスマイナス要因ともなっております。国土の均衡ある発展のためにも、西十和田トンネル(仮称)の早期建設が実現するよう強く要望するものです。

◎「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」の費用の補助に係る措置の継続を求める意見書

人口減少の進む本市では「黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、「しごと」と「新たなひとの流れ」の創生に取り組み、人口減少に歯止めをかけるべく鋭意努力しているところですが、このような中で全域が特別豪雪地帯となっている本市においては、冬期間での道路除雪による交通の確保をすることは重要で、このような状況において、「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」の規定による費用の補助に係る措置が平成29年度末で切れ、平成30年度から地方負担が増加することになれば、当市はもちろん他の市町村にとっても財政的に多大な打撃を受けることとなります。つきましては、当該措置について、平成30年度以降も継続するとともに、地方創生を果たすために必要な道路除雪による交通の確保が図られますよう、特段の御高配を賜りますようお願いいたします。

第4回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番号	件名	会派名					議決結果
		自民・公明クラブ	黒石市民クラブ	日本共産党	高佑会	新政会	
報告第29号	自動車事故に係る和解について	○	○	○	○	○	報告
報告第30号	平成29年度黒石市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	承認
議案第85号	未来につなげる黒石ほるぷ子ども館保存基金条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	黒石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	黒石市姥懐霊園墓地の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第88号	黒石市姥懐霊園火葬場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第89号	平成29年度黒石市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第90号	平成29年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決



番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	議決結果
議案第91号	平成29年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第92号	平成29年度黒石市水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第93号	平成29年度黒石市下水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
報告第31号	道路施設の管理瑕疵による事故に係る和解について		○	○	○	○	○	報 告
議案第94号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第95号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第96号	黒石市国民健康保険黒石病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第97号	黒石市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	平成29年度黒石市一般会計補正予算（第7号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	平成29年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第100号	平成29年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第101号	平成29年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第102号	平成29年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第103号	平成29年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第104号	平成29年度黒石市水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議案第105号	平成29年度黒石市下水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案 第 5 号	西十和田トンネル（仮称）の建設促進に関する意見書の提出について		○	○	●	○	○	原案可決
議員提出議案 第 6 号	「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」の費用の補助に係る措置の継続を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	原案可決



第4回定例会一般質問

一般質問は、12月15・18日の2日間行われ、9人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



新政会
三上 廣大 議員
(二問一答方式)

問 市庁舎耐震対策について、庁舎機能分散後の状況と新庁舎建設についてどのように考えているか。

答 庁舎の機能分散は10月と11月に対象部署の移転を実施し、業務開始後あまり時間も経っておりませんが、今のところ市民の皆様からは困っている、混乱している等の声は聞いておりません。時期により来庁者や業務量に変化するため、1年を通して状況の把握に努めます。新庁舎建設には多額の費用を要し、時期は明示できませんが、小学校の適正配置、給食導入した後、全体計画の中で検討します。

問 中学校適正配置や庁舎機能分散もひと段落した事から、そろそろ具体的な新庁舎建設の時期を市民に示すべきではないのか。

答 庁舎の問題は市民の皆様同様に市役所で働かせて頂いている我々も大変重要な問題であると認識しています。まずは国の補助金を踏まえた上

で中心市街地活性化計画、立地適正化計画を平成30年度に作り上げる事を目標にしており、それがある程度用途が立った段階で市庁舎に対する取り組み方針について議論できる状況になると思っております。今後市民の皆様に対し、しっかりとした説明をすると共に機能分散後の今後の課題について整理します。



黒石市役所本庁舎



自民・公明クラブ
工藤 和行 議員
(二問一答方式)

問 保険者努力支援制度について。

答 制度の内容と交付額はどのくらいか。

問 国が国民健康保険被保険

者の「健康の保持増進と医療費適正化」等に係る市の取り組みを支援するため、指標11項目と小さく分けた44項目の実績を点数化し、それに応じて市町村に交付金を支給する制度です。平成28年度交付額は約500万円です。

問 その交付金約500万円を利活用し、40歳からの特定健康診査をもっと若い年齢層から実施できないか。

答 若い年齢層からの特定健康診査は、早期に異常を発見し、早期治療へ結びつけることにより疾病予防・重症化予防ができ、医療費削減、健康長寿へと繋がりますので前向きに検討します。

問 中・長期の財政的な取り組みについて

答 市庁舎分散に1億円弱の費用をかけたので財政的には10年程度はこのまま使用するべきと思うが、今後考えられる小学校建設等で財政健全化上、実質公債費比率が平成32年度以降も18%を超えることはないのか。

問 小学校建設等を予定していますが平成32年度以降も実質公債費比率は地方債の発行に県の許可を要しない18%未

満を維持したいと考えています。今後も財源確保に努め、歳出抑制を徹底し行財政運営を進めます。



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

問 8月21日の環境管理センター爆発事故の原因、被害対策は。

答 粗大ゴミ処理施設の爆発事故は残留ガスが多量に入っていたガスボンベが原因とみられ、爆風により破砕機をはじめプラント設備等が壊れるなど被害額は約7500万円になります。対策として市報等で危険物分別回収についての情報を周知徹底します。

問 地域力向上に重要な役割を果たしている公民館職員の待遇改善とスキルアップは。

答 公民館職員の勤務は多忙化しています。待遇改善については平成25年度に臨時職員を月給制に、27年度に勤務年数による昇給を実施しています。資質向上については、平成31・32年度に弘前大学での社会教育主事認定講習を受講、取得して



もらうよう協議、検討します。

○ 公共施設の今後の運営について、市庁舎機能分散の状況は。

○ 庁舎の機能分散は平成28年度から着手し29年11月で完了しています。また、境松庁舎へは利用者の負担が軽減されるよう「ぷらっと号」の停車が決定し、手続を進めています。今後も市民への浸透、利便性の向上に取り組みます。



自民・公明クラブ
大久保朝泰 議員
(一問一答方式)

○ 黒石ねぶた祭りの人形ねぶたの動向について。

○ 今年の人形ねぶたの運行台数は3台でしたが、来年の運行台数について、主催者に確認したところ、今年同様3団体から意向確認がとれており、来年は台数が減ることはないと同っています。

○ 市として人形ねぶたを製作、展示、運行する考えはないか。

○ 観光振興の観点からは、有効と考えますが、ねぶた小屋の設置場所、費用面等の課題がありますので、可能性を

模索します。

○ 六郷小学校給食用厨房爆発事故の現在の状況について。

○ 六郷小学校給食用厨房爆発事故の現在の状況につきましては、警察から「捜査はほとんど終了し、後は検察庁の判断である」と伺っており、現在、その後の発表を待っている状況です。

○ 給食の再開について。

○ 平成29年12月18日から、六郷小学校の給食用厨房で試験的に調理作業を行い、22日に全校児童をはじめ、PTAや地域の代表者などを対象とした給食試食会を開催することとしております。教育委員会としましては、今後は二度と事故が起こらないよう、また子供たちにとって安心安全



22日に開催された給食試食会

でおいしい給食を提供できるように、最大限配慮します。



黒石市民クラブ
工藤 和子 議員
(一括方式)

○ 旧東英中、旧六郷中の利活用について市の方向性は。

○ 地区での利活用を最優先に考えています。今後も地区での意見交換を行いながら、より良い活用方法を模索していきますが、利活用が見込めない場合は、売却や貸付等を考えます。

○ 新黒石小学校について。

○ PTA関係者、地域住民からの要望が反映されているか。

○ 統合にあたり対象の3小学校教職員、PTA、地区協議会代表等で統合準備委員会を設置し、要望等を集約・反映させ新設校の事柄を調整、決定しています。要望のあった各校思い出の品を飾る展示スペースの確保を調整しています。

○ 市職員の再任用制度導入の検討について。

○ 新規若年者採用の確保を優先し、平成25年度に「法律で義務付けられるまでは再任

用制度を導入しないものとする」との方針を決定し、制度を導入していません。なお、高齢層の職員雇用については平成29年6月に政府が「公務員の定年の引き上げについて具体的な検討を進める」と閣議決定していることから国の議論を注視していきます。



高佑会
高橋美紀子 議員
(一問一答方式)

○ 中野もみじ山について。

○ もみじの木の現状と維持管理の方策について。

○ 毎年5月に遊歩道付近の点検を行い維持管理に努めています。遊歩道から踏み込んだ箇所は状況調査には至っていません。老木や枯れ木を伐採し捕植することは自然保護と景観維持には必須です。財源の確保も含めできる限り早期の着手に努めます。

○ 小・中学校通学路の安全性の確保について。

○ 県・警察・市・教育委員会構成する黒石市通学路安全推進会議において危険箇所の把握に努め、必要に応じ修繕等の対応や通学路の安全

マップの配布を行っています。小中統合後の学校周辺道路の混雑における道路拡幅などのハード面の整備や除雪については、地区要望も踏まえ各地区での優先を考慮し進めるべきと考えています。

再質問 黒石中・黒石東小の学校周辺通学路の危険箇所について。

○ 教育委員会としても把握しています。安全対策については十分検討します。

○ その他の質問
観光振興について。インバウンド対策、PR方法、観光客への対応について。



自民・公明クラブ
工藤 俊広 議員
(一問一答方式)

○ 公共事業の事業発注の現状と今後の方向性について。

○ 当市の公共事業発注方法の現状については、様々な工事が混在する大規模建設工事において、一括発注と分離発注での費用の積算をしようえで経費が安価である発注方法を採用しています。今後は入札参加資格登録業者に受注機会を拡大を図るために分離分



割発注を推進していくことが望ましいと考えますが、事務量や経費の増大を招くこともあることから、工事の内容や規模を十分に精査し対応を図ります。

○ 災害時の避難所運営の現状と今後について

①本市も参加する自主防災組織を中心とした避難訓練を実施してはどうか

②災害時要援護者への連絡体制について

○ ①本市の自主防災組織は設立された地域の世帯割合を示す組織率が72・9割であり、平成29年度県全体平均48・7割を大きく上回り、市民の防災意識の高さが伺えます。自主避難組織を主体とした避難訓練に市が参加した実績はありませんが相互の連携強化は重要と考えますので訓練への参加、協力に取り組みます。

②災害時要援護者の方々は登録制度を活用し、連絡体制を強化し、的確な情報提供に努めます。また、情報収集を行いながら避難所運営マニュアルの作成に取り組みます。

○ インバウンド対応と観光黒石のブランド力強化について。

イベントが分散しているのでもりごまつりを中心にイベント集約し、りんごウィークを開催しブランド力向上を図れないか。

○ インバウンド勉強会は多くの成果を上げており、来年度は事業者を対象とした英会話講習会や、外国語表記の周遊ガイドブックの作成を予定しています。また、イベント集約については、「りんご」といえば黒石というブランド力を確立させ、他市町村との差別化を図り、黒石のブランド構築に活用できないか関係機関とも連携し調査・研究を行います。



日本共産党 工藤 禎子 議員 (一問一答方式)

○ ①就学援助事業の新入学生児童生徒学用品費を前年度支給できないか

②自校方式3校の学校給食費が県内2番目に高い。補助金を支出し、給食費を下げよ。

○ ①本市としてどのような形がいいのか最善の手法を探っており、速やかに実施できるように検討してまいります。

②学校給食費は各学校で組織する給食運営委員会で決定しており、給食費の補助は考えておりません。

○ 黒石ほるぷ子ども館は建築家の視点と教育や福祉に関わる人たちの視点を融合して宣伝する必要があると考えるがどのように保存していくのか。



黒石ほるぷ子ども館

○ 今年定例会に子供たちの健康やかな育成に寄与してきた黒石ほるぷ館を後世に保存し、活用していく趣旨のもと「未来へつなげる黒石ほるぷ子ども館保存基金条例」を提案しました。この基金を有効活用し修復、保存していきます。

①減免制度は守られるのか。 ②国民健康保険税の値上げは回避すべき。

○ ①国民健康保険税の減免や法定減免・国民健康保険法第44条の一部負担金減免制度等は今まで通り維持したいと考えています。

②基金などを活用して値上げしないよう努力します。



自民・公明クラブ 中田 博文 議員 (一問一答方式)

○ 黒石公民館多目的ホールの再開の可能性について。

○ 平成22年時には天井等の改修費が約1800万円でした。更に現行の消防法による冷暖房、空調設備等の改修費用の増加が見込まれます。小学校の新築増築が終わった段階で再開に係る概算額を算出したいと考えています。

○ 平成29年度主要施策の進捗について。

○ 「手話言語普及事業」については手話講座を小学校3校2事業所で実施しました。

○ 「子育てサポート事業」については現在116人に子育て応援利用券の交付が決定しています。

「産学官連携新家畜導入研究事業」については、事業予定者2人がめん羊を導入予定です。

○ 「インバウンド観光取組体制整備事業」については、勉強会を3回、外国人向けのモニターツアーと宿泊ガイド英語版の説明会も開催済みです。

○ 「土木支給事業」の実績について。

○ 10地区中2地区実施しました。来年度は更に広報、ホームページ等での周知や地区への説明を行い、また「土木資材に限らず幅広い用途で活用できるようにしてほしい」等の要望についても地域コミュニティが発揮できる事業となるよう検討します。

○ 黒石市表彰について 対象者が少なくなっているので表彰条例の見直しが必要ではないか。

○ 近年、継続して同一業務に従事することが少なくなっており、表彰基準を充たす者の減少が受賞者の減少に繋がっています。しかし、分野によってはまだまだ候補者が存在すると思いますので今後にも発掘に努めます。



●委員会活動報告

議会だより編集特別委員会

工藤 俊広・工藤 和子
今 大介・高橋美紀子
三上 廣大

視察先

石川県白山市
(平成29年11月20～21日)

【「議会広報」作成に係る先進地視察について（白山市）】

近畿市町村広報誌コンクールに於いて2年連続優秀賞に輝いた石川県白山市で研修を受けてきました。「議会だより」を作成するにあたり、紙面や構成のバランス、原稿を書くポイント、読みたくなる見出しなどを研修しました。特に感じたことは、研修先である白山市の議会広報は、写真が目を引きカラーであり、文言を少なめにして紙面に余白を多くすることであり、市民にとっては非常に読みやすく楽しいものでした。私たち編集委員も限られた予算の中で市民に読みやすく分かりやすく親しみやすく思いが伝わる「議会だより」を作成するよう努力したいと思います。



白山市での視察研修の様子

●議員活動報告

自民公明クラブ

村上 隆昭・中田 博文
村上 啓二・工藤 俊広
大溝 雅昭・大久保朝泰
工藤 和行・今 大介
北山 一衛

視察先

東京都文京区
(平成30年1月23～24日)

【文京区議会における「通年議会制の概要」について（文京区）】

東京都文京区議会はほぼ1年間を議会の会期とする「通年議会」を平成26年5月より実施しています。
通年議会のメリットは議長が必要に応じ、本会議を随時再開できるため突発的な災害や、緊急を要する行政課題等の発生にも迅速に対応できることです。更には、首長の専断事項を少なくする事ができ、議会審議が深まる等があげられます。
一方でデメリットは通年開催となるため、経費および対応にあたる職員の負担が増える恐れがあるということでした。また、一事不再議の原則（※会議が非効率とならないために、一度議決した案件と同一の案件については再び同一の会議中に議題として取り上げて審議や議決を行うことはできない。）に対する対応等の課題も見受けられました。当市とは議会の運営方法が大きく異なりまので、今後も更なる研究を行います。

●議員活動報告

日本共産党

工藤 禎子

高佑会

高橋美紀子

視察先

沖縄県名護市
沖縄県本部町
沖縄県今帰仁村
(平成30年2月14～17日)

【「廃校の有効活用（本部町）（今帰仁村）】

【「名護市農産物6次産業化支援施設拠点整備事業（名護市）」について】

本部町では、廃校の小学校を住民が立ち上げた企業へ貸付契約し、民泊の受け入れ事業として、修学旅行生の体験学習等に利用していました。今帰仁村では、廃校の小学校を活用して農業生産法人が運営する体験型食育農場ヴィレッジを視察しました。本市の廃校を公益性のあるものにするには若い人やファミリーがリピートするような活用方法が望ましいと思いました。
名護市では、一括交付金の活用により6次産業化と観光を融合した複合施設「なごアグリパーク」を視察しました。6次産業化による農業の活性化を推進している施設でした。



なごアグリパークでの視察の様子

【民生福祉常任委員会活動報告】

2月5日、民生福祉常任委員会（大溝雅昭委員長）は、就労継続支援B型事業所「せせらぎの園」、特定非営利活動法人「あおぞら作業所」、黒石市児童デイサービスセンター「天使の森」の視察を行いました。

「せせらぎの園」、「あおぞら作業所」では天ぷら粉の袋詰めや精密部品の組み立て、木工製品の製作作業等を職員の皆さんと一緒にやって行き、それぞれの力に応じた生産活動をととして、社会的な自立を目指していました。

「天使の森」では利用者である児童の皆さんの活動と福祉サービスの利用状況について施設職員より詳細を伺いました。

視察終了後は社会福祉センターで社会福祉協議会鳴海勝文会長をはじめとする職員の皆さんと、包括支援に対する今後の見通し等の意見交換を行いました。



あおぞら作業所での視察の様子



黒石市・宮古市姉妹都市 議会議員交流会で研修

平成29年11月29・30日、岩手県宮古市において姉妹都市議会議員交流会が開催されました。

交流会では、お互いの都市について理解を深めるため研修等を行っています。

今回は「映画『廻り神楽』を通じて考える地域文化の維持と継承」と題して、昨年8月に全国公開となったドキュメンタリー映画が上映されました。

映画は宮古市に古くから伝わる民俗芸能である黒森神楽の伝承者である「神楽衆」の若者たちを中心に撮影が行われており、東日本大震災を経て



上映後、質問する本市議員

なお演じる思いや神楽衆を一夜の宿として提供しもてなす「神楽宿」の人々との交流を描いていました。

上映後は監督の遠藤協氏による作品解説がありました。また、宮古市内で上映活動を行う宮古映画生協理事の榎柊一則氏による市内映画館の歴史と映画を通しての文化活動についてそれぞれ講演していただきました。

両市の議員からは上映され

た映画について、撮影の過程や黒森神楽の歴史と伝統文化の継承について感想がありました。さらには、宮古映画生協についての現在の活動状況や、今後の目標等についての質問が出されました。

研修後の交流会では議員同士の親睦を図るとともに、宮古市、黒石市それぞれが抱える問題、課題についても活発な意見交換や議論が行われ、両市議会にとって大変有意義な時間となりました。

今後も姉妹都市間の議員交流・研修を通し、さらなる発展へ向け絆を深めていきます。

第12回「議会報告会」を開催しました

1月26日の午後6時から黒石市議会報告会が開催されました。初めに北山一衛議長による9月、12月の議会報告を行いました。そのなかで、秋田県大館市、小坂町を含む黒石市近隣の9市町村議会議長が同盟会を結成し、「西十和田トンネル(仮称)の建設推進を求める意見書」を青森、秋田の両県に提出したことを報告。

続いて、平成29年度の決算報告を工藤俊広決算特別委員長・大溝雅昭同副委員長がそれぞれ報告しました。

最後に参加者の皆さんと意見交換を行い「市内にお産できる施設がないので再開にむけて市真剣に取り組んでほしい」、「観光客に対応できる宿泊施設を市街地に誘致しては」などの意見が出されました。

市議会では、今後も参加者の意見を受け止めながら議会、政治に関心を持っていただけるように努めてまいりますので、次回の議会報告会も多数の参加をよろしく願います。

津軽南市町村議会連絡協議会 第2回定期総会開催

津軽南市町村議会連絡協議会(会長 北山一衛議長)は第2回定期総会を1月31日にグリーンパレス松安閣において開催し、新年度予算、事業計画等の議案をいずれも原案のとおり可決しました。

広域連合・一部事務組合の議会報告

当市が構成員となっている広域連合・一部事務組合の定例会は次のとおり開催し、新年度予算等についていずれも原案のとおり可決されました。

◆黒石地区清掃施設組合議会

開催日：2月19日(月)

場所：黒石地区清掃施設組合
当市選出議員：高橋美紀子議員、今大介議員

◆津軽広域連合議会

開催日：2月21日(水)

場所：弘前地区消防事務組合
当市選出議員：村上隆昭議員、後藤秀憲議員

◆弘前地区消防事務組合議会

開催日：2月21日(水)

場所：弘前地区消防事務組合
当市選出議員：福土幸雄議員、工藤和行議員

編集後記

私達委員は、毎号の制作会議で、どうすれば、市民の皆様様に「愛読」して頂ける「議会だより」になるのかを模索しております。

限られたページ数の中で、議会では何を議論しているのか、議員はどんな活動をしているのかの全てをお伝えすることは難しいですが、表紙の写真選考や記事の一つ一つを討議しながら委員全員頭を悩ませて作成しております。

7ページの委員会活動報告にもありました石川県白山市での視察研修を活かし、今後進化できるか、更に工夫し読んで頂ける為の努力を重ねていきます。ご期待ください。
高橋 美紀子

議会だより 編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 工藤 俊広 |
| 副委員長 | 工藤 和行 |
| 委員 | 高橋 美紀子 |
| 委員 | 今大介 |
| 委員 | 村上 廣大 |

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-10396
黒石市大字市ノ町11番地1号
電話 0172-5212129
FAX 0172-5317410